

海外語学研修（台湾）

報告書

医療科学部 放射線技術学科 2回生 高橋 美帆

8月20日～8月26日までの七日間、台湾語学研修に行きました。

私は今まで日本から出たことがなく、海外の文化に触れたことがありませんでした。この外語学研修に参加したいと思った理由は、以前から興味があり、自分の視野を広げるための良い機会だと思ったからです。また、台湾にはおいしい食べ物が多くあると知り、それを食べてみたいと思いました。



〈台湾に到着！〉

台湾の空港に着いて、研修先の台湾の学生さんが温かく迎えてくれました。そこでは、どちらも緊張して話すことが出来ませんでした。なんとか、私たちの学んだ英語の知識とボディランゲージで伝えようと頑張りました。また、台湾の学生さんはとても親切でした。空港に着いてバスで移動する時、私たちの荷物を出し入れしてくれました。学校に着いた後も、私たちが部屋に案内したり、地元のコンビニに買い物したりと、とても親身になってくださいました。

〈中国語を勉強したとき〉

中国語及び文化課程では、私たちと台湾の学生がペアになって中国語や台湾の文化を学びました。中国語と日本語と英語が飛び交う部屋の中はとても不思議でした。台湾の人はとても親切で明るく、日本の音楽やアニメを知っていたので、私たちはとても快適に過ごすことができました。





<元培医事技科大学には…>

元培医事技科大学には学内に資料館があり、私たちが大学で学んでいる放射線に関する医療機器が展示されていました。その多くは昔実際に使用されていたものだそうです。二年生の前期に学んだことがそこにあったので、とても良い刺激になりました。私たちは講師の人の話を熱心に聞き、放射線の歴史を学びました。



<魅力的な都市！～台湾～>

台湾の歴史のある寺、ショッピング、病院見学など他にも様々な場所へ行き、学び、台湾の人と交流をしました。あれは中国語では何と言いますか？と何度も質問し、また台湾の学生さんに日本語では何というのですか？と言って積極的にコミュニケーションすることが出来ました。研修中に何度もあった中国語講座で学んだことを試したい、話したいと思うようになり、意欲的に取り組みました。

私は、台湾に行く前はとても不安な気持ちでいっぱいでしたが、台湾の文化を学び、学生と交流することで台湾の研修をより積極的に参加できたと思います。今回の研修で、私が思っていた以上の大切なことを得ました。台湾の人の温かさにとっても感謝しています。